



日本・ Bangladesh が官民一体となって開発を進める「 Bangladesh 経済特区 (BSEZ) 」プロジェクト。JETRO は日本企業の皆様の BSEZ への進出をサポートするため、BSEZ に関する最新の情報をお届けします。

## 本号のトピックス

- JICA Bangladesh 事務所長インタビュー
- 他にはない、JICA の包括的な BSEZ 支援
- 中央水処理設備が着工 (BSEZ アップデート)
- Bangladesh ・ BSEZ 関連報道

## ➤ JICA Bangladesh 事務所長インタビュー ～ BSEZ を産業多角化・高付加価値化の起爆剤に～

～昨年9月に着任されてから半年がたちましたが、 Bangladesh の印象はいかがですか？

### 市口所長：

10年ほど前に、本部で担当課長をしていた際に Bangladesh (以下バ国) には頻繁に出張しており、それ以来の関わりになります。その時と比べて渋滞は一層ひどくなりましたが、「発展してきたな」というのが第一印象です。一方で、その発展にともない、2026年のLDCからの卒業、中進国の罫、気候変動への対応といった近い将来必ず対応しなければならない課題に直面しています。10年前は貧困国であったため、多くのドナーからの支援を得て、目の前には成長しかない「バラ色の Bangladesh」であった状況から、現在は「自力で課題に対処する」必要があるフェーズに転換してきたといえるかもしれません。



JICA Bangladesh 事務所 市口知英 所長

～ Bangladesh に対する JICA の取組のこれまで、今、そしてこれからの展望を教えてください。

### 市口所長：

JICA はバ国の独立以降50年にわたり、農業、保健、教育、防災などの様々な分野で同国の発展に貢献してきました。この貢献によって築いた JICA として日本への信頼の上に現在があるのは間違いありません。2014年の日バ首脳相互訪問以降、円借款が急拡大し、現在は、最大の ODA 供与国の一つになっており、数々の大規模かつ質の高いインフラ事業が実施されています。その多くを日系企業が受注している点もバ国の注目に値すべき点です。そして、2026年にLDC卒業を控える今、中進国の罫にはまらないためにも、産業の多角化、高付加価値化によりフォーカスした協力を行っていく必要があると考えています。もちろん、これまで行ってきたような、農業、保健、教育、防災などの事業も引き続き実施していく所存です。また、全ての事業に共通する課題として、バ国においては政府のガバナンス改善が重要な協力分野として考えています。

～そのような JICA の取組の中で、BSEZ への支援の位置づけを教えてください

### 市口所長：

今後よりフォーカスしていく「産業の多角化、高付加価値化」の起爆剤になりうるのが BSEZ です。だからこそ、他国の工業団地でも例を見ない、多層的な支援を行っています。円借款によるインフラ・土地造成の支援にはじまり、BEZA 出資分へのバックファイナンス供与、BSEZ 社への出資、ツーステップローン (タカ建て融資) による入居企業支援、ワンストップサービス提供のための技術協力と、実に5種類の支援を行っており、ミャンマーのティラワ工業団地と同程度か、それを超える手厚い支援となっています。

～BSEZ支援以外の、民間企業への支援スキームの紹介、今後の方針の説明をお願いします。

**市口所長：**

民間連携事業（中小企業・SDGsビジネス支援事業）と海外投融資の二つの支援スキームがあります。民間連携事業は、ビジネス化に向けた調査やパイロット事業の実施に活用頂けるスキームで、バ国だけでこれまで約50件の支援実績があります。今後は、量以上に質を重視していく方針で、JICAとしても目利き力を高め、成功可能性の高い案件の支援に注力していきたいと考えています。海外投融資については、再開後間もない制度であり、JICAとしてもまだまだ知見と経験が十分でないため、融資の際には協調融資の形式をとらざるをえない点が課題です。その中で、インフラ関連PPP案件など、バ国では有望な案件が多数存在すると考えています。

～バ国の今後の発展のために必要なポイントを教えてください。また、バ国・BSEZに関心を持つ民間企業の方に一言お願いします。



**市口所長：**

バ国の持続的な発展のために今後必要なこととして、産業の多角化・高付加価値化、社会の脆弱性の改善（教育、保健、農村開発等）、政府のガバナンスの改善（税収増、公務員制度改革、地方分権等）があると考えています。個別のポイントの説明はここでは割愛しますが、産業の多角化・高付加価値化の実現には、民間企業の皆様の協力が不可欠です。現在のような大規模なODAをバ国に対して継続していくためには、「なぜバ国なのか？」という疑問に答えていく必要があります。そのためには、実際に日本の民間企業がこの国に投資を行い、成功することで、日バ関係が多様化し、深化することが、説得力のある説明になると考えています。BSEZが操業を開始した今、ぜひ、バ国への投資をご検討いただければ幸いです。

## ➤ 他にはない、JICAの包括的なBSEZへの支援（by JICA）

### ＜国際水準経済特区へ、インフラ支援＞

まず、大きな魅力として紹介したいのはBSEZのインフラ整備スキームです。アジアの工業団地整備では、事業会社がインフラ整備を一括で実施するのが一般的ですが、洪水が多く、土地造成だけでも多額の初期投資が必要なバングラデシュのBSEZでは、公共資金を活用し、民間企業の初期投資を抑えながら、100年確率の洪水にも耐えられるバングラデシュ初の国際水準の高規格経済特区としてBSEZの整備を進めています。

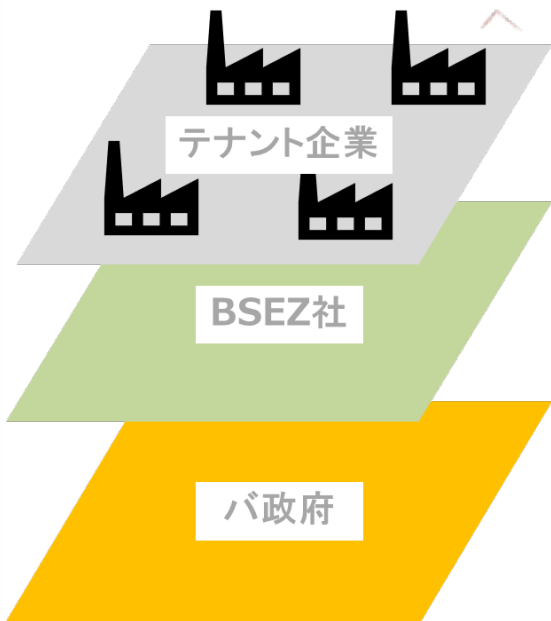
バングラデシュ政府・経済特区庁（BEZA）がBSEZ周辺と下物のインフラ（土地造成、アクセス道路、変電所、ガスステーション等）を政府資金で整備し、BSEZ社はBSEZ上物インフラ（BSEZ内の道路、配電線、ガス管、上下水道管等）を整備しています。JICAは、BEZAのインフラ整備資金を円借款によって支援しており、日本の官民一体で整備・運営するBSEZへの本邦企業からの信頼は大きいものとなっています。



洪水対策の盛土



整備されたアクセス道路



### 建屋整備(テナント企業整備)

- 工場・倉庫建設等

### オンサイトインフラ (BSEZ社整備)

- 工業団地内の道路・排水路
- 工業団地内の送電線・通信線
- 工業団地内のユーティリティ設備(ガス配管、上下水管)
- 管理棟・レンタル工場



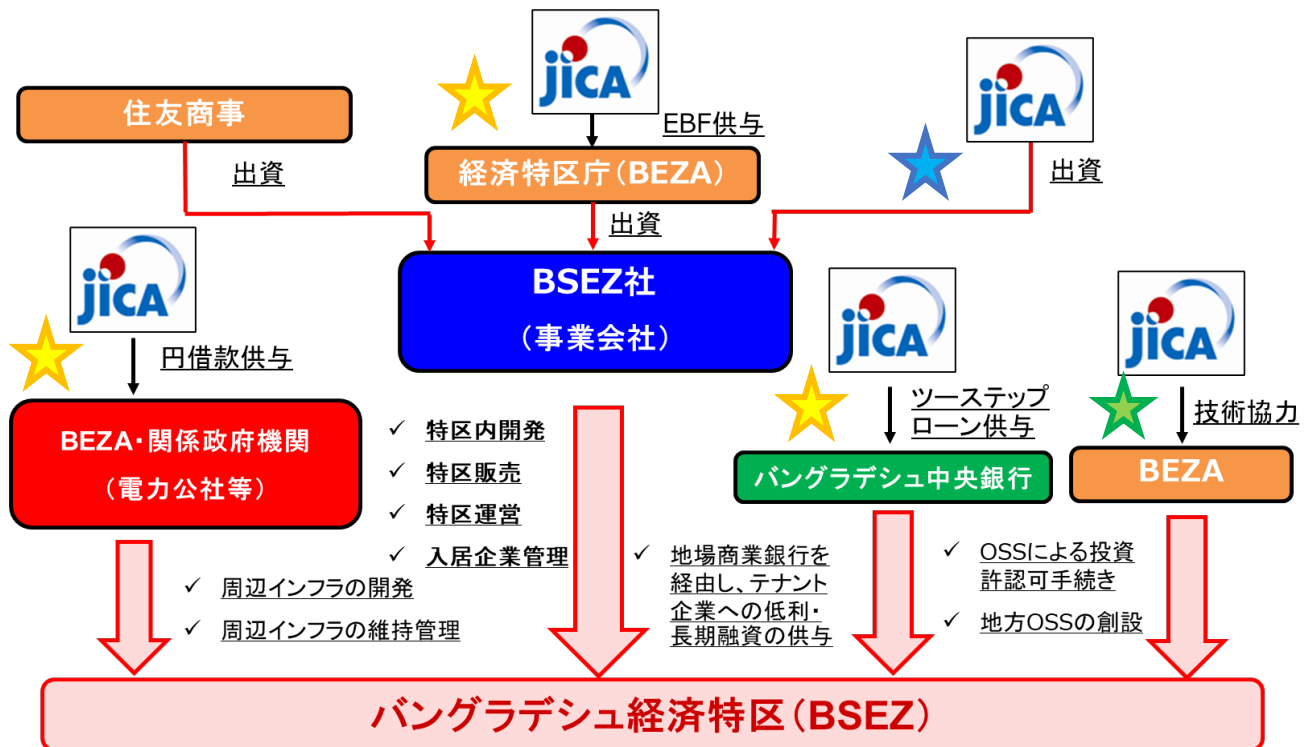
### オフサイトインフラ (円借款支援によるバ政府整備)

- 土地造成、アクセス道路、洪水調整池
- 工業団地までの電力供給(変電所・送電線)
- 工業団地までのガス供給(ガスステーション・ガス管)
- 工業団地までの通信整備(通信基地・通信網)



## <BSEZならではの出資構成、日バ政府の後ろ盾>

次に、紹介したいのはBSEZ社の出資構成です。JICAはBSEZ社の出資資金を、①円借款事業を通じたBEZA出資分へのファイナンス (Equity Back Finance)、②海外投融資によるBSEZ社への直接出資、によって支援しており、BSEZ社の運営も日バ両政府からの後ろ盾がある状態といえます。この点は入居を検討する企業にとっても安心材料としていただければと思います。



★ 円借款「外国投資促進事業」(2015年、2019年L/A署名)

★ 技術協力プロジェクト「経済特区管理・投資促進能力強化プロジェクト」(2022～)

★ 海外投融資を通じた、BSEZ社への出資 (2022)



## ＜投資許認可から融資支援まで！JICAの包括的な支援＞

また、BSEZ入居企業への進出支援として、経済特区における煩雑な投資許認可行政手続きを簡素化するためのワンストップサービス（OSS）の制度構築、BSEZにおけるOSS事務所の設立を技術協力で支援しています。技術協力事業の森永プロジェクトリーダーは、「半年から1年かかっていた工事開始前の経済特区での投資許認可が、OSSの整備により、3か月程で工事を始められるようになってきました」と着実な投資環境の改善を実感しています。

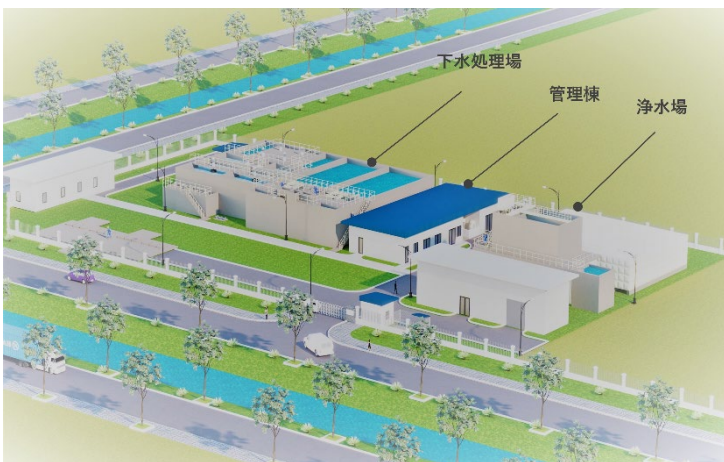
さらに、JICAの円借款資金を活用して、BSEZ入居企業へのタカ建て低金利（金利最大5%）融資（ツーステップローン）も提供されています。BSEZ進出を検討している企業（※BSEZ外への進出企業も申請可）で、タカ建て融資をご検討の方は、JICAバングラデシュ事務所までご連絡ください。

【タカ建て融資に関するお問合せ先】

JICAバングラデシュ事務所（担当：瀬戸）

E-mail: Seto.Shota@jica.go.jp, TEL: +880-1730-783629

## ➤ 中央水処理設備が着工（BSEZアップデート） by BSEZ社



完成イメージ



工事の状況

バングラデシュ経済特区（BSEZ）では、製造業のお客様の生産活動をご支援すべく、中央浄水場（CWTP）及び中央下水処理場（CETP）の整備を進めております。

原水は経済特区敷地内内の取水井戸（深さ約300m）から汲み上げた地下水を使用、CWTPにて薬品投入や濾過処理を行った後、お客様への工業用水の供給を行います。

また、排水につきましては、各企業様にて経済特区が定める排水基準まで一次処理を行って頂いた後、弊社CETPにて二次処理（生物処理）を実施、バ国法令に則った水質にて排水を行ってまいります。

第一期工事（CWTP容量：3,000m<sup>3</sup>/日、CETP容量：2,400m<sup>3</sup>/日）につきましては、設計・建設工事を五洲興産（契約先：GOSHU KOHSAN (BANGLADESH) CO., LTD.）に発注し、本年2月より現場での工事を開始しております。工事は順調に進捗しており、当初計画通り、今年末頃を目途に入居企業様への上水の供給、排水の受入を開始予定です。

## ➤ **Bangladesh・BSEZ関連報道ピックアップ（2023年4月）**

- [安価な労働コストと親日感情 - NNA ASIA・インド・経済](#)（2023年4月6日、有料記事（Bangラの今（上）））
- [7%の高成長も腐敗に不安 - NNA ASIA・Bangラデシュ・経済](#)（2023年4月13日、有料記事（Bangラの今（中）））
- [日系企業、経済特区に熱視線 - NNA ASIA・Bangラデシュ・経済](#)（2023年4月20日、有料記事（Bangラの今（下）））
- [Bangラデシュ・ハシナ首相「国の発展が優先」 単独会見一問一答 - 日本経済新聞 \(nikkei.com\)](#)（2023年4月20日、有料記事）
- [Bangラデシュ・ハシナ首相「11カ国とFTA協議」 最貧国卒業で - 日本経済新聞 \(nikkei.com\)](#)（2023年4月20日、有料記事）
- [Bangラデシュ・ハシナ首相「アジアの結節点に」 最貧国卒業 - 日本経済新聞 \(nikkei.com\)](#)（2022年4月21日、有料記事）
- [東亜建設工業、Bangラデシュ経済特区内における家電生産施設の建設工事を受注 - 日本経済新聞 \(nikkei.com\)](#)（2023年4月24日）

### Column ～Bangラ産ビール、その名も「HUNTER」～

イスラム教徒が人口の9割以上を占めるBangラデシュだが、実は「HUNTER」という名前のBangラデシュ産のローカルビールが存在する。クセのないすっきりとした味わいで、なかなか悪くない。購入できる場所は限られているものの、1ケース（24缶）で4,300タカ（1タカ＝1.25円）と比較的手ごろな価格で入手可能だ。駐在員同士で飲み会をする際は、冷蔵庫で冷やしたHUNTERを保冷バックで持参するのが鉄板。お酒の入手や持ち込み、飲酒に不便をとまなう国であることは確かだが、お酒好きの方への安心材料となれば幸いだ。



HUNTER（350ml缶）

【BSEZへの入居検討等に関するお問合せ先】

Bangladesh SEZ Ltd（担当：新川様）

E-mail: [masashi.shinkawa@bangladeshsez.com](mailto:masashi.shinkawa@bangladeshsez.com), TEL: +880-18-1010-1134

【BSEZ通信、BSEZ通信メールマガジンに関するお問合せ先】

ジェトロ・ダッカ事務所（担当：薄木）

TEL: +880-2-55052239, E-mail: [bad@jetro.go.jp](mailto:bad@jetro.go.jp)



↑メルマガ登録

～ **BSEZ通信メールマガジンご登録のお願い**～

BSEZ通信メールマガジンの配信をご希望で、ご登録のお済でない方は、以下のリンクもしくは右上のQRコードよりご登録をお願いいたします。

👉 [https://www.jetro.go.jp/mreg2/magRegist/index.htm?mag\\_id=3638](https://www.jetro.go.jp/mreg2/magRegist/index.htm?mag_id=3638)

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。